

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
208	郷土行事等振興事業	松江祭髷行列及び菊花展を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	【髷行列】 10月20日(日)に109回目となる松江松江祭髷行列を開催し、16団体約2,400人が参加。約70,000人が観覧した。 また、10月5日には、髷行列を多くの人 に知っていただくために髷まつりを開催した。 【菊花展】 11月2日(土)～11月17日(日)まで松江城馬溜まりで第74回松江菊花展を開催し、約77,000人が来場した。	【髷行列】 物価の上昇や人口減少、少子化などの外部環境の変化による影響を受けている団体もある。 参加団体を維持していくため、継続して支援を行っていく。 【菊花展】 農林高校からの出品もあり、多くの菊花を展示することができた。	13,454千円	【髷行列】 10月19日(日)に第110回松江髷行列を開催するととも、前夜祭である宵宮を10月18日(土)に開催、髷まつりを10月4日(土)に開催することが決定した。 ＜方向性＞ 物価の上昇や人口減少、少子化などの外部環境の変化による影響を受けている団体もある。 参加団体を維持していくため、継続して支援を行っていく。 【菊花展】 11月4日(火)～11月19日(水)まで松江城馬溜まりで開催することが決定した。 ＜方向性＞ 菊花展を持続可能なものにしていくために、地元農業高校をはじめ、若い方の参加を促進するための取組が必要。	14,185千円	文化振興課				
209	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●							●	●	●	○	こども向けの体験イベントや、定時ガイドによるツアーや清掃活動等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	研修会やツアー、イベント等幅広い世代の方に興味をもってもらえるような事業を計画する。	10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室				
210	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	R6年度は、3地区で「まち歩きマップ」の増刷に係る補助を実施した。 また、5地区で「歴史のまち歩き」を開催し、応募者総数242名、参加者総数103名であった。	・市内の各公民館の要望調査に応じて「まち歩きマップ」の増刷補助および「歴史のまち歩き」の実施を検討する。 ・幅広い年代の参加につながる企画を考え、新規参加者を獲得する。 ・公民館と連携し各地域主体のまち歩きへの移行を支援する。	1,023千円	3地区で「まち歩きマップの増刷」「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施中。 また、7地区で「歴史のまち歩き」を開催予定。7回のうち、6月末までに5回を終了した。	1,104千円	文化財課				
211	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			○	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,060人だった。	・次のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。	5,547千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,541人だった。 ・次のホーランエンヤ開催に向けて、8月5日から多目的ホールで展示「権伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催するなど、機運を高めるような取組みを計画的に行う。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,971千円	松江歴史館				
212	郷土行事等振興補助金	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事　・御津みなと祭り	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	【恵曇伝統行事】 令和7年1月3日(金)開催	【恵曇伝統行事】 地域住民の親睦と郷土愛を育むためにも継承していくべき伝統行事であり、引き続き支援していく。	202千円	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事・令和8年1月実施予定	202千円	鹿島支所				
213	郷土民謡振興補助金	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・後継者育成事業として、美保関中学校にて、ふるさと教育を実施中。 ・師範資格審査会の実施。	・後継者育成事業を積極的に実施し、文化の継承及び、指導ならびに育成を行う。	1,000千円	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	1,000千円	美保関支所				
214	地域伝統文化継承推進	学校教育において、卒業する児童・生徒に地域に伝わる古き良き伝統や文化に触れる機会を提供することにより、伝統や文化への関心を深めるとともに、それらを大切にしようとする心を育み、かつ地域伝統の継承を図ることを目的として、卒業するもの自らが、地域に伝わる紙すきを行い、卒業証書を作成する。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●				●		○	・八雲小・八雲中卒業生125名が10月と11月に自らの卒業証書の紙すきを行った。	伝統文化にふれる機会を提供する。	305千円	・令和7年度も令和6年度と同様に実施予定 【令和7年度卒業予定者数】 小学校　71人 中学校　49人 ・地域の伝統文化を継承していくため、今後も継続して事業を実施する	312千円	八雲支所				
215	宍道地域郷土行事等振興補助金	松江観光協会宍道町支部(主に実行委員会方式)が実施または支援する『宍道夏祭り協賛事業』、『宍道そば祭り』、『さまち川まつり』等に対する事業に補助金を交付する。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・宍道れんげ祭(湖上花火)は前年より500発打上げ数を増す中で開催し観覧者からは喜びの声があがった。また、露店も出店する中、盛大なお祭りが開催できた。	・町内の観光施設・固有の特産品・伝統行事などの観光資源を生かしたイベント開催や、伝統芸能の継承・保存活動など、地域住民・関係団体が行う観光振興に対して引き続き支援を行っていく。特に道れんげ祭(湖上花火等)については引き続き力を入れ盛大なお祭りを目指す。	2,335千円	・宍道れんげ祭(湖上花火)は前年と同じ2200発を打上げ、観覧者からは喜びの声があがった。また、露店も出店する中、盛大なお祭りが開催できた。	2,335千円	宍道支所				
216	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性、質の向上を図ること等について、再確認していく。	4,030千円	・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課					
217	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会	●	●	●	●						●		●		○	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	リンク先を添付したり、音や映像を流したりするための時間や予算の確保が必要。	66千円	—	—	学校教育課				
218	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課				

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課		
				第1期				第2期				知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった	
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10															
【柱3】市民生活に根づく茶の湯文化																										
★	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部																	—	—	—	市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課	
301	職業体験イベント開催支援事業	子どもを対象に、和菓子職人によるデモンストラーションや八雲塗りの絵付け体験などを行う職業体験イベントの開催を支援する。	産業経済部																	○	7/4 第1回実行委員会 開催 11/12 第2回実行委員会 開催 12/2・3 山口市の職業体験イベント視察 1/21 「MATSUE WAKU WORK」開催 (市内中学2年生約1,800名参加)	・令和7年度も引き続き中学生2年生を対象に11月に開催予定。詳細は関係者で今後協議する。	10,000千円	・4/22 商工会議所との打合せ (※今年度事業のスケジュール等の確認) ・5/8 商工会議所との打合せ (※実行委員会の内容等の確認) ・5/26 第1回実行委員会 ・プロポーザルを実施し、山陰中央テレビジョン株式への委託について第2回実行委員会で書面決議(6/13)し決定。 ・11/12開催予定。	10,000千円	商工企画課
302	松江そば文化ブランド化推進事業	「松江の出雲そば」の歴史や文化を広くPRすることで認知度向上を図り、ブランド化を進めることで、観光誘客や地元産そばの生産拡大を目指す。	産業経済部																	○	7/11 松江そば文化ブランド化推進協議会総会開催 ・令和6年度「献そば式」の開催 「連」の開催・参加者の組織化 県外イベント参加 「松江松平そば」PR強化 など	・松江そば文化ブランド化推進協議会により事業を継続し、取り組みを進める。 *日本三大蕎麦(松本・盛岡・、松江)キャンペーンを企画予定	1,000千円	6/25 松江そば文化ブランド化推進協議会第1回運営委員会 7/1 松江そば文化ブランド化推進協議会総会開催予定 総会にて、令和7年度の活動方針及び活動内容を決 定していく。 ・令和7年度活動予定 ・献そば式 ・釜揚げそばキャンペーン ・そばの学校 他	1,500千円	商工企画課
303	職人商店街創出事業	中心市街地に、松江が誇る漆器、陶器、民芸紙、めのう細工などの伝統工芸店や、和菓子づくり、茶の湯、そば打ちなどが体験できる飲食店が軒を連ね、優れた職人の技とまちの活気が感じられる賑わいの拠点の創出を目指す。	産業経済部																	○	・職人商店街創出支援事業補助金 (申請件数)2事業者 (補助額)1,107千円 ・職人商店街創出支援事業トライアル補助金 (申請件数)3件 (補助額)354千円 ・職人商店街二次交通支援事業補助金 (申請件数)1件 (補助額)600千円 ・職人商店街アプリ導入支援事業補助金 (申請件数)1件 (補助額)1,000千円 ・職人商店街回遊性向上ソフト事業補助金 (申請件数)1件 (補助額)1,050千円 ・工芸作家へのアンケート調査 市内10人の工芸作家へまちなか出店に関するアンケートを実施	・都市再生推進法人と連携し、空き家・空き店舗の活用も進め、中心市街地商店街の賑わい創出を図る。	4,669千円	・令和7年6月議会で補正予算を要求。 ・前年度に引き続き、店舗のリノベーション支援、トライアルスペースのお試し出店支援、回遊性向上のための賑わいづくり支援を行う。	0千円	商工企画課
304	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出を図る。	産業経済部																	○	・いろは舎での販売、中心市街地トライアルスペースでの販売、R6年10月にリニューアルオープンしたカラコロ工房で実施した、工芸品展示販売等により、工芸品販売額が積み上がっている。 ・また、出雲かんべの里での工芸作家等によるトークイベント、カラコロ工房での工芸技法に触れられる体験イベントやワラフトフェアを開催した。	・工芸品展示会場として、カラコロ工房の地下金庫室の利用を推進する。 ・工芸の魅力を情報発信し、認知度向上につなげる。 ・販路開拓の機会を増やすため、展示会への出展や商品開発を支援する。	642千円	・いろは舎での販売、中心市街地トライアルスペースでの販売、カラコロ工房での工芸品展示販売等により、工芸品販売額を積み上げる。 ・今後もカラコロ工房等で複数の工芸イベントを行うことで、工芸品の展示販売機会の確保や魅力を発信する。	512千円	商工企画課
305	地域ブランドPR・販路拡大対策事業	首都圏において松江市の特産品の販売や工芸品の展示等を通して、広く「松江市」をPRするとともに、観光誘客や産品の販路開拓・消費拡大に繋げていく。	産業経済部																	○	KITTE大阪において、11月1日～3日に松江特産品フェアを開催。 売上合計160万円。	リアルイベントの効果や必要性を検証し、今後の方向性について協議する。	1,787千円	10月3日～6日の4日間KITTE大阪での特産品フェアを開催予定。 万博開催期間に実施することで、インバウンド客の誘致を見込む。	1,931千円	商工企画課
306	地域ブランド産地育成事業	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	産業経済部																	○	・【そば】作付面積117ha 収穫量 28.2t ・【大豆】作付面積39ha 収穫量 34t ・【西条柿】作付面積 35t 販売額 46百万円	【そば】 作付面積は前年と比較して大きく変わりはないが、播種後の降雨がなく高温も続いたため、収穫量は前年より少なくなった。 【大豆】 作付面積は前年度比で減少。それに伴って収穫量も減少した。 【西条柿】 首都圏での販促活動を実施し、知名度向上と販路拡大を図った。 カメムシ被害と高温により、販売額が減少した。	5,094千円	・【そば】(6月末時点の見込み) 作付面積 100ha 収穫量 30t 農家数減少により作付面積は減少する見込み ・【大豆】 作付面積 41ha ・【西条柿】 高温は続いているが、カメムシ被害は前年度より少ないので、収穫量は前年より多くなると見込まれる。	6,310千円	農政課
307	松江市伝統産業支援事業	市内事業所に従事する優秀な技能者を表彰する。	産業経済部																	○	・10月9日に選考委員会において9名の表彰者が確定し、11月21日に表彰式を実施した。 ・現在は中央図書館エントランスホールにて表彰者の作品を展示しており、令和7年度5月から7月には市役所本庁舎4階で展示を行う。 ・松江市報「シリーズ松江の匠」で表彰者の記事を掲載。	様々な業種の、予定していたよりも多くの方を表彰することができた。次年度も引き続き事業周知の工夫を行い、広く候補者を呼びかける。	622千円	・7月に市内各推薦団体に対しR7年度表彰者の推薦依頼をするため準備を行った。今年度は、送付文書の中に昨年度の活動内容を写真付きでまとめたものを同封することとし、事業を分かりやすく伝える工夫を行った。 ・要綱の改正を行った。表彰の対象業種を実態に合わせ表現を変えたことで様々な業種の方に広く情報が行き渡ることを期待している。	580千円	ものづくり産業支援センター

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
308	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●								●					○		2,452千円	—	—	文化振興課	
309	明々庵及び赤山茶道会館保存活用事業	明々庵及び赤山茶道会館について、老朽化、故障した施設を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部	●	●	●										●					○		—	—	—	文化振興課	
310	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】日本旅行Tis松江が運営し、9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】申請件数：0件 ※7月に1件申請予定。 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	文化振興課	
311	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					○		223千円	【審議会】第1回審議会：9月26日開催 第2回審議会：3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】R7.3月策定 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	文化振興課	
312	明々庵及び赤山茶道会館管理運営	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		14,116千円	・県指定文化財である明々庵の茅葺屋根の傷み等、施設の保存・補修に対する課題がある。県文化財課等と協議しながら適切な管理を行う。 ・周辺施設や地域との連携を図り、施設の新たな活用。	22,901千円	・適正な管理運営を行っていたい。 ・赤山茶道会館大屋根改修工事、明々庵屋根改修工事を実施予定。	文化振興課	
313	茶の湯文化振興	茶の湯の日イベント、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちやのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					○		3,391千円	・和菓子店等と連携して「茶の湯の日」の取り組みを推進した。 ・次世代への茶の湯文化の継承を図るため、体験する機会の拡充やSNS等を利用した情報発信の強化を行った。 ・関係者と連携し、茶会の開催を推進する。 ・茶の湯文化に関する情報発信を茶会に併せて実施する。	3,608千円	・4月26日、27日にイオン松江SCで茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売を実施し、計705人が参加した。 ・4月24日の前後に学校給食で抹茶を使用した特別メニュー(抹茶水羊羹など)を提供した。 ・茶道体験をしていただく「ちやのゆの学校」に2団体から申し込みがあった。 ・毎月24日のSNS発信、庁内放送による茶の湯文化の周知	文化振興課	
314	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		○		10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室		
315	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		○		1,023千円	3地区で「まち歩きマップの増刷」「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施中。 また、7地区で「歴史のまち歩き」を開催予定。7回のうち、6月末までに5回を終了した。	1,104千円	文化財課		
316	史跡及び名勝菅田庵維持管理【再掲】	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		4,139千円	引き続き史跡名勝地の維持管理を実施する。	4,404千円	令和6年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	文化財課	
317	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		111,090千円	・松江歴史館の入館者数は145,149人、観覧者数は49,449人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」を2回刊行した。	94,449千円	・松江歴史館の入館者数は36,559人、観覧者数は11,564人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を4校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	松江歴史館	
318	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		○		973千円	・資料の寄贈・委託を行った。(寄贈資料13件、委託資料7件)	2,633千円	・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	松江歴史館	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
319	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	4つの展覧会を実施した。 ①企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」 ③特別展「月照寺と松平家の宝」 ④館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」	・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	17,290千円	1つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工 小林如泥」 ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	16,357千円	松江歴史館				
320	伝統工芸品育成事業	松江市の伝統的工芸の振興に関する事業（八雲町伝統的和紙製造技術の伝承、普及）を支援し、伝統的工芸の普及と育成を図る。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・ワークショップ5回開催し、自分で漉いた紙に自分で選んだ材料で書道を行ったりシルクスクリーン印刷を行った。 ・材料のトロロアオイを農福連携で栽培を行っている。 ・国際観光課の協力を得て個人観光客を誘致している。	伝統文化にふれる機会を提供する。	406千円	・令和7年度も令和6年度と同様に実施予定 ・八雲町伝統的和紙製造技術の普及と育成を図るため、今後も継続して支援を行う。	406千円	八雲支所				
321	宍道地域伝統工芸品育成事業	宍道地域で主に生産される、国の指定する伝統的工芸品「来待石灯ろう」産業の振興のため、来待石灯ろう協同組合が行う新製品開発、展示会参加費、後継者育成等に補助を行い地域の伝統産業の発展を図る。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・阪急うめだ本店で開催された”進化する伝統「暮らしを彩る匠の技」”に出展 ・島根県産業技術センターとの共同での来待石のヒートアイランド対策実験は継続中 ・10月、11月に市内小学校で職員指導による体験実施予定 ・「朗読のしらべ in 来待ストーン」にて、来待石マグネットを配布 ・「妖怪あんどんづくり」に来待石台座を提供。朗読のしらべで展示。 ・香港テストマーケティングに参加（2月28日まで）。香港バイヤーとの1年間の委託販売が決定。	・まちづくり等での来待石の利用を提案 ・海外販路の模索 ・来待ストーンと連携し、引き続き後継者教育やPRのための体験イベントを行う。	249千円	・10月、11月に市内小学校で職人指導による体験実施予定 ・玉湯町旧大谷小学校のノヴィーコンサートに来待石ライトを展示 ・アイルランドの Lafcadio Hearn Japanese Gardensに、来待石製品を出荷予定。	237千円	宍道支所				
322	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・令和6年7月31日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性、質の向上を図ること等について、再確認していく。	4,030千円	・令和7年8月1日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金の配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課					
323	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会	●	●	●	●					●		●		○	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	リンク先を添付したり、音や映像を流したりするための時間や予算の確保が必要。	66千円	—	—	学校教育課					
324	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課					
325	出雲かんべの里運営事業	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会による指定管理 利用者数120,381人（民話館8,692人、工芸館105,114人、かんべ茶屋6,575人）	工芸館の入館者数カウント方法を変更したため、前年度より大幅に増加した。そのほか民話館についても様々な魅力あるイベントを企画するなどの工夫により、利用者数が増加した。	42,474千円	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数27,649人（民話館2,120人、工芸館23,839人、かんべ茶屋1,690人）	43,970千円	生涯学習課					

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度						六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課						
				第1期				第2期																					
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える							予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった				
【柱4】小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化																													
★	小泉八雲没後120周年記念事業小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金	朝ドラ「ばけぼけ」を、全国・世界に向けた松江の魅力発信・観光振興に最大限生かすとともに、将来にわたり「妻セツと出会い、小泉八雲が愛したまち松江」を市民が誇れるよう「小泉八雲・セツの精神・功績」を後世に引き継ぐ。	観光部							●	●	●	●	●		●	●	●			—	—	—	市内の機運醸成を図るため、オリジナルデザインのラッピングバスを4月25日から運行。 ・市内の機運醸成を図るため、JR松江駅前や商店街、観光施設、飲食店等に、協議会公式ロゴマークのペナント、のぼり、ポスターを掲出。また、JR松江駅構内にオリジナルデザインの広告を掲出。 ・市内の機運醸成を図るため、イベント等開催補助金を創設。25件の申請を受け付け（6月13日申請締め切り）、このうち10件の申請を採択し、イベントは8月以降、順次開催される見込み。 ・八雲とセツに関連する商品開発等を支援するため、5月30日に番組タイトルロゴ商用使用説明会を開催。 ・市内の機運醸成及び誘客プロモーションのため、商品パッケージ等への協議会ロゴマークの使用を促進。6月末までに55件の使用を承認した。 ・市内の機運醸成のため、5月4日にイオン松江店で開催された小泉八雲のアートイベントに出展。（主催者：STA） ・市内の機運醸成及び顕彰のため、八雲とセツ及びドラマ放送を生かした松江市の取組についての講演を実施。（7月2日：城西公民館、7月12日：島根県建築士会松江支部） ・5月に行われた「ばけぼけ」の松江ロゴについて、下見及びロケ当日の帯同、現場対応を実施。 ・誘客促進のため、6月11日～13日に東京で旅行会社を回り、八雲とセツゆかりのスポットやおすすめコース等をPR。 ・誘客プロモーションのため、ドラマ放送開始までに特設WEBサイトを開設予定。 ・顕彰のため、小泉八雲・セツの普及用冊子を製作し、市民講座、学校での出前授業等で順次活用予定。 ・受入環境整備のため、小泉八雲とセツゆかりの地の案内看板の修繕及び新規設置を予定。 ・周遊促進のため、重ね押しスタンプラリーを導入予定。	12,290千円	小泉八雲・セツのドラマ応援室			
★	小泉八雲・セツ普及促進事業	小泉八雲の妻、セツをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説の放映を契機に、市民の小泉八雲・セツへの理解促進を図る機会・コンテンツを充実させる。	文化スポーツ部							●				●		●		●		—	・	—	■普及用冊子「一から知りたい小泉八雲とセツの物語」（一般向け）、「いっぱい知りたい 小泉八雲とセツの物語」（小学生向け）の作成→9月発刊予定 ■妖怪・怪談・神話をテーマにした境港・松江・出雲の紹介書籍の作成、販売（秋頃） ■出前講座の実施（講師） 羽田昭彦（小泉八雲・セツの普及コーディネーター）（8月1項） ■ゲストを招聘したトークイベント等の開催（12月以降） ■熊本市との連携協定締結（6月）「小泉八雲を縁とする連協協力に関する協定」 ■焼津市との連携（意見交換・視察）（8月）	6,053千円 6月補正 1,952千円	文化振興課				
★	文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部							●	●			●		●				—	—	—	市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課				
★	小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業	小泉八雲・セツのドラマに関連し、小泉八雲とセツが生きた明治時代中期の松江の様相を歴史資料やゆかりの品々で振り返る展覧会を開催する。	文化スポーツ部							●				●		●		●		—	—	—	展示業務委託を締結し、展覧会開催に向けた準備を行っている。	12,561千円	松江歴史館				
401	小泉八雲没後120周年記念事業	市民・団体などの自主企画による、小泉八雲の作品などを題材にしたイベントなどの開催を支援する。 【新たなイベント】 演劇やアートイベントなどの小泉八雲の顕彰に資する、八雲の作品等を題材にしたイベントの開催を支援する。 【定着イベント】 「小泉八雲朗読のしらべ」や「小泉八雲をよむ」などのイベントを小泉八雲没後と怪談出版の「120年記念」として開催する。	文化スポーツ部						●					●		●	●	●	○	・市民や事業者の企画・運営による小泉八雲関連のイベント等の開催を支援する補助金を創設し、申請のあった10事業のうち5事業を採択した。（補助率10/10、上限30万円） ・市としても市民の小泉八雲に対する愛着と誇りを一層深めていただける機会となるようPRを行うなど支援した。	令和6年度で事業終了	1,700千円	・既存顕彰事業の着実な実施 ・小泉八雲・セツ普及促進事業による顕彰	—	文化振興課				
402	「怪談のふるさと松江」事業	「松江怪喜宴」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）の開催について、補助金を交付する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○	・松江怪談談義は10月5日に開催。 ・酒林堂八雲は2月23日、24日に開催。 ・「酒林堂八雲」については、集客状況により定員の増加、会場の変更について検討する。 ・今後も長期的に持続可能なイベントとしていくため、収支を見直す必要がある。	2,200千円	・松江怪談談義は10月4日に開催。 ・酒林堂八雲は10月25日、26日に開催。	6,140千円	観光振興課						
403	潜戸観光遊覧船更新事業【再掲】	（一社）加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げるもの。	観光部			●	●						●		●		●	○	令和6年4月より発効した国土交通省の安全基準を踏まえた仕様により、遊覧船を入札し、造船業者を決定した。	令和6年度で事業終了	38,600千円	—	—	観光施設課					

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
404	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	近年の物価変動分を考慮し補助金を検討する	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課				
405	アイルランド交流事業	アイリッシュフェスティバル in Matsue実行委員会への補助金を交付するほか、在アイルランド日本大使館の協力による松江のPRなどを行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・3月にアイリッシュ・フェスティバルin Matsueを開催予定。	・引き続き市民へのアイルランド文化紹介やアイルランドとの交流事業を行う。	1,165千円	・3月8日(日)にアイリッシュ・フェスティバルを開催	1,278千円	国際観光課				
406	ニューオーリンズ交流事業	松江ニューオーリンズ・フェスティバル実行委員会への補助金交付を行う。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・10月に松江ニューオーリンズ・フェスティバルを開催した。 ・9月にニューオーリンズ・ジャパン・フェストでのPR品の送付を行った。	・引き続き市民へのニューオーリンズ文化紹介やニューオーリンズとの交流事業を行う。	760千円	・10月12日(日)に松江ニューオーリンズ・フェスティバルの開催 ・9月にニューオーリンズ・ジャパン・フェストにノベルティ等を送り、PRを行う。	760千円	国際観光課				
407	山陰日本アイルランド協会事業補助金	松江市民に対し、様々なアイルランド文化紹介事業を実施し、松江市事業の補完的な役割を果たしている山陰日本アイルランド協会に対し、補助金を交付する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		アイルランド音楽練習会やアイルランド文学読書会などを実施した。	・引き続き補助事業を通じて市民へのアイルランド文化紹介を行う。	62千円	アイルランド音楽練習会やアイルランド文学読書会の定期的な開催。	62千円	国際観光課				
408	多文化共生推進事業	外国人住民支援のほか、国際交流イベントや国際理解講座等を行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・松江市外国人相談窓口を設置し、相談対応や生活相談会などを実施した。 ・多文化共生イベントを3回実施した。 ・海外文化講座を7回実施した。	・引き続き外国人住民支援や市民への多文化理解推進を図る。	687千円	・松江市外国人相談窓口を設置し、相談対応や生活の定期的な開催。 ・多文化共生イベントを3回開催予定。(7月・11月・1月) ・海外文化講座を月1回程度開催予定。	1,219千円	国際観光課				
409	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。	文化スポーツ部				●	●	●					●		○		・令和6年6月3日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 ・令和6年6月「史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会」を設置。委員5名に同年8月1日付け委嘱状交付。 ・10月4日(金)に第1回委員会を開催した。 ・2月4日(火)に第2回委員会を開催した。	・文化庁補助を受けて保存活用計画策定。 ※令和6年度から事業名変更「小泉八雲旧居保存活用計画策定事業費」	3,502千円	・令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 ・8月26日(火)に第3回委員会開催予定 ・11月上旬に第4回委員会開催予定 ・令和8年3月印刷・刊行予定 ・引き続き、委員、文化庁等の意見・助言を受けながら計画策定を進める。	2,969千円	文化振興課				
410	小泉八雲記念館保存活用事業	・記念館と旧居を一体的に整理し、小泉八雲の調査研究拠点として施設のあり方を検討する。	文化スポーツ部			●										○		—	—	—	—	—	文化振興課				
411	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●						●		○		3月末までに9本の動画を制作し、YouTubeに掲載した。それぞれの動画について今年度は、若者をターゲットにしたYouTube広告を出すことにより、これまで本市の伝統文化芸術に関心が薄かった若者世代に情報を伝えるができ、視聴回数的大幅な増加につながった。 【平均視聴回数(3月末時点)】 令和6年度制作動画・・・13,686回	令和5、6年度にさまざまな分野の文化イベント動画を制作した。これらを、より多くの方に見ていただき、松江の伝統文化芸術を知っていただくため、既存動画の周知を行う。	2,452千円	—	—	文化振興課				
412	小泉八雲旧居管理運営【再掲】	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:43,313人	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の未公開部分の活用に向けた整理をする必要がある。	5,386千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:15,370人(6月末時点)前年比152.4%	5,045千円	文化振興課				
413	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:91,535人	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降8年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。	27,742千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:27,949人(6月末時点)前年比123.4%	22,432千円	文化振興課				
414	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		【審議会】 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】 7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】 R7.3月策定	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	223千円	【審議会】 第1回審議会:10月1日開催予定 第2回審議会:3月下旬頃開催予定 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課					
415	スピーチコンテスト事業	松江を世界に紹介した文豪・小泉八雲の偉大な業績をたたえ、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		9/22にスピーチコンテストを開催した。 その後は、入賞者へ集合写真の郵送、入賞者CD音源の製作を行った。 また、R7年度開催に向け、振り返り会を開催した。	・参加者自体が減少傾向にあるため、松江市内の学校と連携し、松江市内の学校からの参加者の増加を図る。	1,117千円	・審査員、司会の依頼 ・ポスター、要項チラシの作成と配布 ・参加者の募集開始(6月下旬～) ・昨年度入賞者録音CD、暗唱読本の販売 ・7/14関係者による会議を開催 ・市報掲載	1,214千円	文化振興課					

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期				第2期						知る	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった							
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
416	顕彰団体育成補助金	小泉八雲の顕彰団体である八雲会が行う機関紙「へるん」の発行事業に対し、補助金を交付する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			○		・八雲会が機関紙「へるんvol.61」を発刊	・一般社団法人八雲会は、小泉八雲記念館、旧居の指定管理を請け負っているため、指定管理業務に補助金を含めるかを検討する。	110千円	八雲会が機関紙「へるんvol62」の発行事業を進めている。発行されたら、補助金を交付する予定である。	110千円	文化振興課	
417	作品普及事業	小泉八雲の作品を対象とする感想文、詩の募集を行うもの。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○		R6.12に審査員を決定した。 R7/1/10募集を完了し、2/20の審査会に向け準備を行っている。 表彰式は3/22予定	・松江市内の学校、書店、図書館等と連携し、松江市民の応募の増加を図る。	292千円	・チラシの作成と配布 ・市報掲載(8月より応募開始)	305千円	文化振興課	
418	こども塾スーパーヘルンさん講座事業	八雲に学び、松江や日本の文化を五感で感じることにより、こどもたちならではの視点での「松江」の新たな魅力の発見・創出につなげる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○		・古江小学校の4年生を対象に、全4回にわたる講座を開催した。 第1回:7月11日(木) 第2回:9月10日(火) 第3回:9月17日(火) 第4回:11月19日(火)	・小学校校長会等を通じて、事業の周知を図り、受講を希望する学校を増やしていく必要がある。	296千円	今年度は、古江小4年生と恵曇小、大野小の3・4年生が講座を受講する。 6月18日に古江小の4年生、7月9日に恵曇小と大野小の3、4年生に対し、小泉八雲の授業を行った。この後、9月に各学校で五感運動を実施した後、10月、11月にまちあるき、11月、12月に学習発表会を実施する。	295千円	文化振興課	
419	朗読のしらべ開催事業	松江市出身の俳優・佐野史郎氏の朗読とギタリスト・山本恭司氏の音楽により小泉八雲の作品の世界観を表現するコラボプログラムを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		10月27日に宍道町の来待ストープで開催し、定員である約90名が来場した。 開催にあたっては、地元の有志団体であるさま石プロジェクトと島根県立宍道高校に生徒が来場者を迎えるための来待石を使った光のオブジェの制作及び設置を行うことで、宍道町のPRにもつながった	・「朗読のしらべ」のファンを増やすために、企業や一般の人を巻き込んだ取り組みとする。	1,069千円	・令和7年度 11月16日開催で決定 ・小泉祥子Dと打合せを行い、スケジュールを共有 ・後援依頼の発信 ・会場(プラバ)スタッフとの打合せ実施	1,555千円	文化振興課
420	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 1件 途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。	・引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 0件 ※7月に1件申請予定。 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援する。	2,500千円	文化振興課
421	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		こども向けの体験イベントや、定時ガイドによるツアーや清掃活動等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	研修会やツアー、イベント等幅広い世代の方に興味をもってもらえるような事業を計画する。	10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室	
422	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		R6年度は、3地区で「まち歩きマップ」の増刷に係る補助を実施した。 また、5地区で「歴史のまち歩き」を開催し、応募者総数242名、参加者総数103名であった。	・市内の各公民館の要望調査に応じて「まち歩きマップ」の増刷補助および「歴史のまち歩き」の実施を検討する。 ・幅広い年代の参加につながる企画を考え、新規参加者を獲得する。 ・公民館と連携し各地域主体のまち歩きへの移行を支援する。	1,023千円	3地区で「まち歩きマップの増刷」「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施中。 また、7地区で「歴史のまち歩き」を開催予定。7回のうち、6月末までに5回を終了した。	1,104千円	文化財課	
423	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		・特別展「海と湖に生きた人々ー登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念ー」(10/5～)を実施。	令和6年度と同様に実施	12,739千円	特別展「島根半島の考古学展」(令和7年10月12日～令和8年1月18日)を開催予定。	12,997千円	文化財課	
424	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		春季企画展「庶民の布志名焼・舟木窯生活用品をつくる」、秋季企画展「松江藩の焼き物～茶道具から雑器まで～」を開催。	令和6年度と同様に実施	12,445千円	春季企画展「海を越えた布志名焼～瀬松木窯180年の歴史～」(令和7年4月8日～5月18日)を開催。 夏季ミニ企画展として、「むかし、玉湯は海だった～来待置と布志名窯の化石～」(令和7年7月29日～8月24日)を開催予定。	13,958千円	文化財課	
425	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		・松江歴史館の入館者数は145,149人、観覧者数は49,449人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」を2回刊行した。	・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	111,090千円	・松江歴史館の入館者数は36,559人、観覧者数は11,564人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を4校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	94,449千円	松江歴史館	
426	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○		・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性、質の向上を図ること等について、再確認していく。	4,030千円	・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期										予定どおり 進捗した	予定どおり 進捗しなかった						
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	知 る	育 て る	伝 え る	創 造 す る	活 用 す る	支 え る									
427	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会	●	●	●	●						●		●				○		・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	リンク先を添付したり、音や映像を流したりするための時間や予算の確保が必要。	66千円	—	—	学校教育課
428	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●				○		各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
429	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●				○		・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・体験学習実施学校数7校	希望のあった学校についてすべて体験事業を実施することができた	2,457千円	・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・学習活動としての予約が数件	2,038千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期				第2期				知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10														
【柱5】市民とともに育む文化芸術活動																									
★	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部																	—	—	—	市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課
★	ぶらっとブラバ魅力発見事業	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。	教育委員会																	—	—	—	・親子ペア無料招待 6月:N響公演 ・公演リハーサルの無料公開 6月:N響公演のリハーサル見学会 ・公開レッスン 6月:松江ウインドアンサンブル40周年記念公園のゲスト指揮者「西村友」氏による市内中学校4校の吹奏楽部指導 ・ブラバホールを市民に身近に感じてもらえるよう、引き続き広報に努め、来演者の増加を図る	1,864千円	生涯学習課
501	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月5～20日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。 ・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	2,701千円	・4月から土日祝(荒天時除く)に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	3,000千円	観光振興課	
502	松江水燈路事業【再掲】	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・9月28日(土)から10月20日(日)までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。 実行委員会を早期に実施しプロモーションに時間と労力を割けるようにする。	22,000千円	・9月27日(土)から10月19日(日)までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、屋台設置、シャトルバス運行など予定。	22,000千円	観光振興課		
503	松江武者行列事業	平成 15 年から堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した市民参加型イベントとして開催。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・4月6日(土)に松江武者行列を好天のもと開催した。沿道にも多くの見物客が見えた。 初めて当日参加者枠を設けた。	12,400千円	・インバウンドを意識し、当日の行列参加枠や着付け体験等を行う。 ・お城まつりと一体化し、春の誘客期間としてのイベント実施を行い、メインイベントを松江武者行列とする。	14,000千円	・4月5日(土)に松江武者行列を好天のもと開催した。沿道にも多くの見物客が見えた。	14,000千円	観光振興課	
504	海の学苑ふるさと創生館管理運営	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○				管理運営を行った。施設の不具合箇所は現状調査を行い、当面の安全対策を行った。	引き続き、必要な修繕や指定管理を実施し、管理運営を行う。	92,702千円	管理運営を実施している。老朽化に伴う施設の不具合箇所は、随時、必要な修繕を行う。	71,997千円	観光施設課		
505	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部			●	●								●		○	3月末までに9本の動画を制作し、YouTubeに掲載した。それぞれの動画について今年度は、若者をターゲットにしたYouTube広告を出すことにより、これまで本市の伝統文化芸術に関心が薄かった若者世代に情報を伝えるができ、視聴回数の大幅な増加につながった。 【平均視聴回数(3月末時点)】 令和6年度制作動画・・・13,686回	令和5、6年度にさまざまな分野の文化イベント動画を制作した。これらを、より多くの方に見ていただき、松江の伝統文化芸術を知っていただくため、既存動画の周知を行う。	2,452千円	—	—	文化振興課		
506	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 1件 途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。	・引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 0件 ※7月に1件申請予定。 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援する。	2,500千円	文化振興課		
507	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○			【審議会】 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】 7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】 R7.3月策定	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	223千円	【審議会】 第1回審議会:10月1日開催予定 第2回審議会:3月下旬頃開催予定 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課			
508	中村元記念館活用事業	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○			・業務委託先のNPO法人の高齢化、財政赤字などの課題があり、今後の施設のあり方を検討した。	・業務委託先のNPO法人の努力により財政赤字は軽減されたが、高齢化の課題は残る。引き続き、今後の施設のあり方を検討する必要がある。	15,724千円	・今年度より、博士の資料の調査研究が本格的に行われている。並行して、今後の施設のあり方を検討する。	17,363千円	文化振興課			

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
509	文化芸術振興事業	合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため、松江コーラルソサエティの活動を支援する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	【松江コーラルソサエティ育成事業】交付請求を受け、補助金交付	・合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため今後も支援していく必要がある。	670千円	引き続き、合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため今後も支援していく必要がある。	170千円	文化振興課				
510	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業	3年に1度開催する松江・森の演劇祭について、補助金を交付する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	令和7年度の「松江・森の演劇祭」開催に向けて補助金を交付した。	・財源確保のため、国や民間の補助金申請やクラウドファンディングなどを支援する。 ・より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。	2,500千円	6月27日に実行委員会を開催し、令和7年度に開催する第8回松江・森の演劇祭の詳細を決定した。 ＜第8回松江・森の演劇祭＞ 日程：令和7年10月30日(木)～11月8日(土) 場所：松江・森の演劇ゾーン(しいの実シアターほか) 上演劇団：5か国8劇団8作品(仏・伊・英・米・日)	27,500千円	文化振興課				
511	市民音楽祭開催事業	松江市民音楽祭を主催する松江市民音楽団体連絡協議会へ補助金を交付する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・交付請求を受け、補助金交付 ・11月10日に「第53回松江市民音楽祭」をプラバホールにて開催	・音楽に関する補助金の情報提供を行い、活動が広がるよう支援していく。 ・市民音楽祭の開催に補助金を交付する。	342千円	松江市民音楽団体連絡協議会への補助金を交付を準備している。	342千円	文化振興課				
512	市民美術展開催事業	市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・「デザイン部門」を新設した。また、各部門に「ユース賞」を創設するとともに、大学生年代の出品料を無料化することで、若い年代からの出品者数の増加を図った。	・「デザイン部門」の新設を検討する。 ・大学生の出品料を無料にすることを検討する ・SNSなどを利用し、情報発信の強化に努める。	2,398千円	・5月26日に第1回実行委員会を開催し、令和7年度に開催する「第53回松江市民美術展」の事業計画が決定した。 ・令和7年度は、試験的に日本画部門と工芸部門を一人2作品まで出品可能にすることで、出品数の増加をめざす。	2,722千円	文化振興課				
513	八雲林間劇場管理運営	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。市内小中学生を対象とした育成事業の実施。	・指定管理事業として国内秀作公演、幼児を対象とした人形劇、未来学校事業、海外秀作公演を実施。NPO法人の努力により複数の補助金を獲得しサービスの拡充を行われた。 ・引き続き近隣のかやぶき交流館と合わせて、一体的な施設のあり方、活用方針、後継者問題を検討する必要がある。	33,643千円	・適正な管理運営を行っている。 ・劇場内の非常灯修繕を実施した。 ・指定管理事業として小中学生を対象とした育成事業を実施予定	11,895千円	文化振興課				
514	文化協会事業	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市民文化協会へ委託する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・令和5年度に続き、総会を対面で開催した。 ・市報等の媒体を使い、PRしたことで6団体が新しく加盟した。 ・加盟団体助成金の支給を随時実施した。 ・インターネットによる文化情報の提供を行った。 ・市民文化祭をさんびる文化センタープラバホールで開催し、加盟団体の作品展示のほか文化講演会、こども向けのわくわく広場などに合計1,443人が来場した。	・文化協会及び加盟団体の情報発信を強化する。 ・加盟団体数を増やすため、入会条件の見直しを検討する。	14,719千円	【会議】 ・総会 年1回開催(6/14) ・理事会 年3回開催(6/2、12月中、3月中) 【市民文化祭】 ・第29回市民文化祭(10/11～10/13) ・文化講演会(10/25)	16,646千円	文化振興課				
515	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	こども向けの体験イベントや、定時ガイドによるツアーや清掃活動等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	研修会やツアー、イベント等幅広い世代の方に興味をもってもらえるような事業を計画する。	10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室				
516	鹿島文化ホール・ミュージックフェスタ事業	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま ・鹿島ジュニア音楽会	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	ピアノフェスティバル 令和6年8月24日(土)開催 ジュニア音楽会 令和6年12月1日(日)開催	例年通り開催予定。	494千円	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま：令和7年8月23日(土)実施予定 ・鹿島ジュニア音楽会：12月7日(日)実施予定	494千円	鹿島支所				
517	鹿島文化活動推進事業	鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	令和6年10月26日(土)開催	例年通り開催予定。	250千円	・令和7年10月25日(土)開催予定 ・鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	250千円	鹿島支所				
518	島根町地域コミュニティ支援事業	伝統行事、文化講演会の開催など自治会独自の活動に対して補助を行うことで、地域の連帯感の醸成や地域活動の活性化を図る。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	自治会連合会と12自治会から補助金の申請があった。	地域のつながりを絶やさないよう、今後も各自治会へ実施について働きかける。	1,559千円	自治会連合会と12自治会より補助金申請があり、予定通り事業を実施した。令和7年度も前年同様の行事予定を伺っており、過疎地域における地域住民の連帯感を絶やさないよう継続実施していく	1,559千円	島根支所				
519	美保関芸術文化振興事業	美保関町内において行われる文化鑑賞事業に対し、地域の文化・芸術の振興に寄与することを目的に文化・芸術の振興に資する事業を支援する。	市民部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	音楽の神様をお祀りする美保神社にちなみ、歴史と文化が融合するまち美保関町美保関で「神と海の祭2024」を実施。人の交流を創出し、美保関の文化・芸術の振興及び地域振興に寄与。	令和6年度同様に実施予定。	2,328千円	美保関町内において行われる文化鑑賞事業に対し、地域の文化・芸術の振興に寄与することを目的に文化・芸術の振興に資する事業を支援する。	2,328千円	美保関支所				